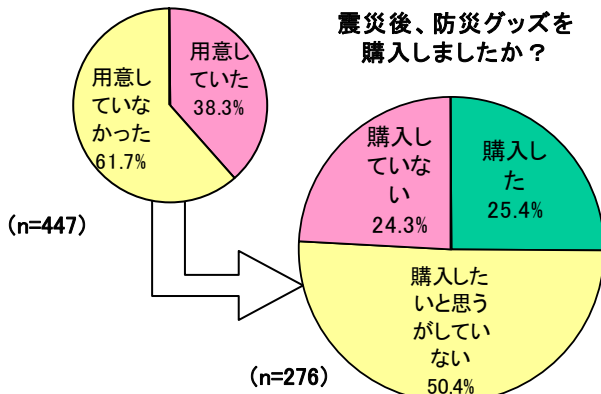


～防災に関するアンケートから～ 震災前から、防災グッズを 用意していた園児ママは約40%

園児とママの情報誌「あんふぁん」(幼稚園を介して全国で70万部配布、発行:株式会社サンケイリビング新聞社)が発行するデータ集「園児とママのデータ」は、200を超える豊富なグラフや考察を通し、「今どきの園児とママの価値観、暮らし、消費」を浮き彫りにしています。

今回「あんふぁん」では2011年3月11日に起きた東日本大震災を受け、全国のメールマガジン会員を対象に、非常用持ち出し袋や防災に関する調査(サンプル数=485人、調査方法=インターネット、期間=2011年6月16日～6月30日)を実施。防災に対する意識や、ママが不安に感じていることなどが明らかになった。

震災前から防災グッズは
用意していましたか？



**用意していなかったママの4人に3人が
震災後に防災グッズを購入していない**

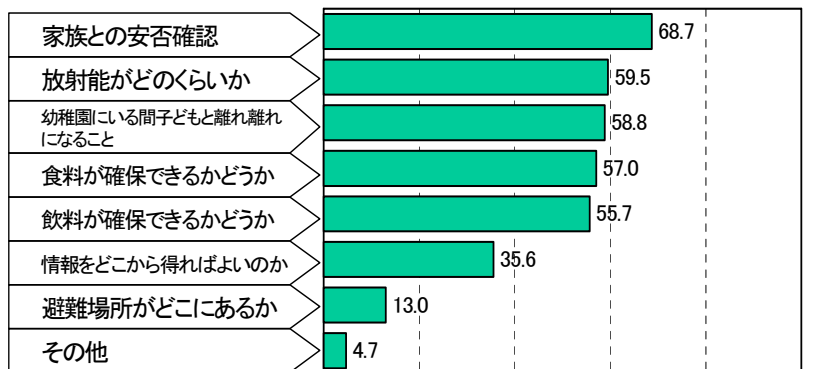
幼稚園児を持つ家庭で「震災前から非常用持ち出し袋など防災グッズを用意していた」というママは全体の4割程度。用意していなかったママのうち震災後に購入したママもわずか25%という結果になった。4人に3人が未だ防災グッズを購入していないことになる。購入したいと思うがしていないママが半数いたのも残念な点。日々の育児に追われて購入が後回しになっているからだろうか。イザという時に困らないよう、日頃から準備することをPRする必要があるようだ。

(n=447)
震災関連であなたは今、どのようなことに不安を感じていますか？

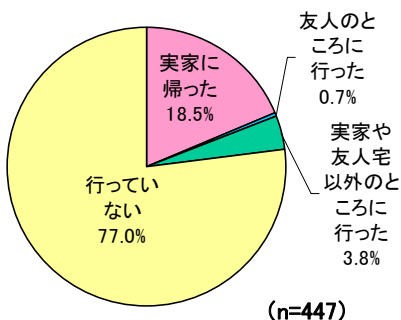
放射能よりも不安なのは家族の安否

幼稚園ママが震災関連で一番不安に感じていることは家族との安否確認という結果に。パパが勤務先からなかなか戻って来られなくて不安な時間を過ごしたママも少なくはないだろう。家族と一緒にだと心強いという意見もあった。

幼稚園にいる間に子どもと離れ離れになることを不安に思っているママも放射能に次いで多い。約7割のママが園児の保育時間中に被災したことが大きな要因となっているようだ。



震災後、自宅を離れて
実家などに行きましたか？



5人に1人のママが震災後、しばらく自宅を離れていた！

読者の80%が専業主婦というあんふぁんママ。今回の震災が保育時間中だったため、園児がそばにいないと不安な気持ちになった人も多いはず。余震が続き、放射能に関する情報も満足に得られないため、5人に1人のママと園児が実家や知人を頼って安全と思われる場所まで避難したようだ。首都圏(東京、神奈川、千葉、埼玉)においては、実家を離れて避難したママは全体の約26.4%にものぼる。

●このリリースに関する問い合わせ

サンケイリビング新聞社あんふぁん事業部(担当: 木戸)

03-5216-9181 enfant@sankeiliving.co.jp

